

大阪原水協  
理事会からの  
中止声明

# 世界大会 in ニューヨーク中止！

3月13日、日本原水協からメールで、新型コロナウイルスの世界的感染を理由に「原水爆禁止世界大会インニューヨーク」を中止するとの連絡が入り、その後、4月27日開会予定だったNPT再検討会議延期の報道がありました。

「核兵器廃絶、気候の危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」のスローガンのもと、ニューヨーク世界大会に賛同いただき、ニューヨーク行動を決意したみなさんは90人を超え、各地域・団体で行われた学習会や壮行会に参加されたみなさんは400人近くとなりました。

残念ながらニューヨーク大会は中止となりましたが、核兵器廃絶をめざす世界の動きに逆行などはありません。私たちの運動は、平和大行進や広島・長崎世界大会の成功をめざすとともに、秋に行われる国連総会に「ヒバクシャが訴える国際署名」をうずたかく積み上げ、核兵器廃絶を願う世界の諸国民とともに、「核兵器禁止条約」の発効をすすめることに全力をあげていきます。改めて、みなさんの運動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

NPT再検討会議は今年の夏か来年の春に行うことで、現在国連で検討中ですが、日本原水協として新たに提案があると思います。その際は改めてみなさんに提起したいと思います。

つきましては下記の点についてご留意ください。

### 記

1. 原水爆禁止世界大会インニューヨークは中止となりました。当然旅行代金の振り込みは一切必要ありません。また、日通旅行への手続きも不要です。
2. 4月4日（土）の「ニューヨーク代表者会議」は中止します。
3. 4月27日NPT再検討会議開会日宣伝、5月22日のNPT再検討会議閉会日宣伝は中止の方向で関係者と検討しています。
4. 引き続き「ヒバクシャ国際署名」推進に、お力添いをお願いします。
5. 6月30日から7月7日までの国民平和大行進、8月4日から6日予定でメイン会場となる原水爆禁止世界大会・広島成功にむけ、ご参加をお願いします。
6. 大阪原水協はこの間、原水爆禁止世界大会インニューヨークを成功させるため、ビラを9万枚配布し、壮行会の開催、Tシャツを作り、郵送代などの経費が80万円ほどかかりました。

厚かましいお願いとは存じますが、大阪準備金程度のカンパをいただければ幸いです。

**(3月19日 日本原水協の中止声明をうけて大阪原水協第5回理事会で決定した声明を掲載します)**

日本被団協の中止声明を紹介します。

## 2020年 NPT 再検討会議にあわせた日本被団協 NY 行動代表団派遣中止について

2020NPT 再検討会議日本被団協代表団、各都道府県被団協、被爆者と支援の団体、個人の皆さん。NPT 行動に向けて準備を進めておられることに心から感謝します。

しかし、猛威を振るっている新型コロナウイルスの蔓延に直面し、高齢で持病を抱えた被爆者を多数含む代表団の派遣が困難になりました。加えて、やはり新型コロナウイルスの影響で、国連が一般の来訪者に続いて職員の本部建物への立ち入りも制限し、サイドイベントもすべて中止。また NPT 再検討会議も延期の方向で調整中との情報を得て、日本被団協は、本日 3 月 16 日、代表団の派遣を中止する決定をしました。派遣中止は誠に残念ですが、新型コロナウイルス蔓延のもと、人々の命を守るための決断です。ご理解ください。

代表団は NY 行動で、NPT 再検討会議の傍聴をはじめ、次の諸行動を予定していました。

- ①国連本部ロビーでの「国連原爆展」の開催
- ②「ヒバクシャ国際署名」の提出
- ③国連及び各国（特に核兵器保有国）への核兵器廃絶要請
- ④生徒、学生、市民に対する被爆証言と交流
- ⑤サイドイベントの実施
- ⑥NGO 共同行動（原水爆禁止世界大会 NY、集会とラリーなど）への参加

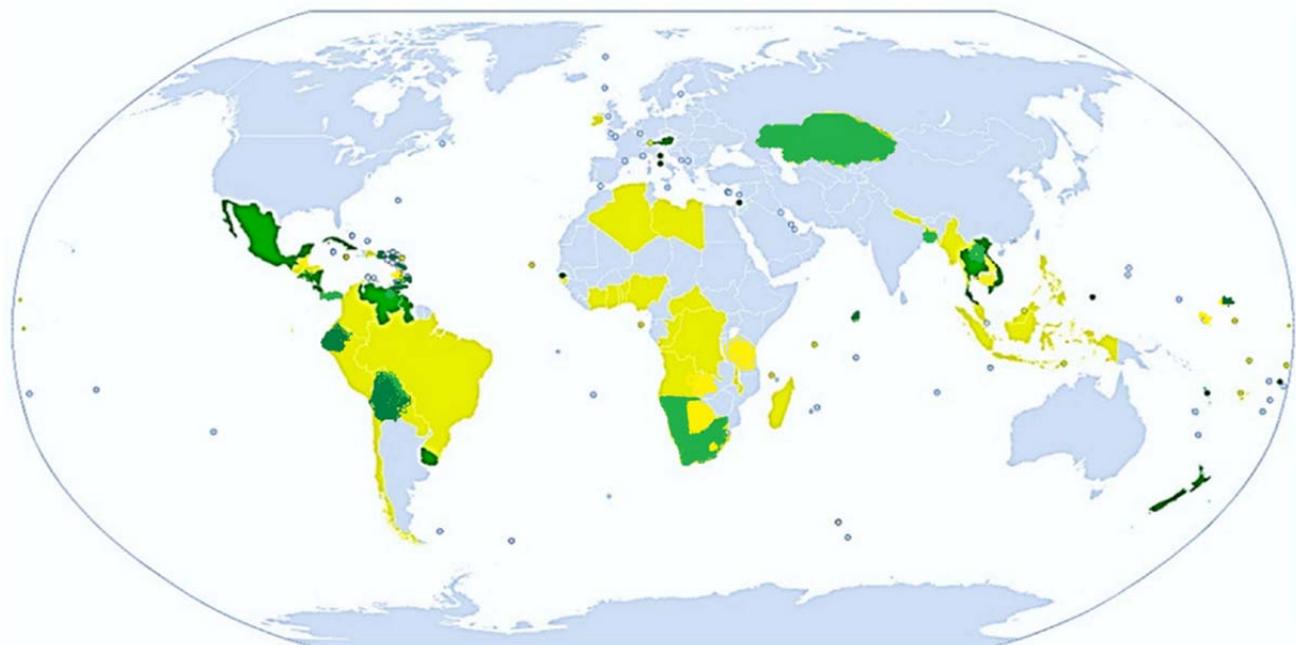
このうち、現在制作中の「国連原爆展」については完成を目指すとともに、開催時期の変更の可能性を含め、国連側と協議を進めます。

被爆者は、1956 年の被団協結成から今日まで、世界の市民と諸国に「原爆（核兵器）は絶滅だけを目的にした悪魔の兵器である、核兵器による絶滅の危機から人類を救う唯一の道は核兵器の廃絶である」ことを自らの体験から証言し、「核戦争おこすな、核兵器なくせ」と訴えてきました。

2017 年、核兵器禁止条約が採択されました。市民の声が世界を動かした成果です。世界の大半は確実に核兵器廃絶に向かっています。しかしその一方で、米ロをはじめとする核兵器保有国とその同盟国は核兵器禁止条約に反対し、核兵器を使用できる体制を強めています。

被爆 75 年、日本被団協は核兵器も戦争もない世界を目指し、「ヒバクシャ国際署名」をはじめとする諸行動の成功のために奮闘します。今後も、みなさんの参加と協力をお願いし、報告とします。

2020 年 3 月 16 日 日本原水爆被害者団体協議会



■ 批准国 ■ 署名国

核兵器禁止条約批准国 3月25日現在

**36か国(あと14か国で50か国に)**

3月20日、あらたにアフリカの「ナミビア」が批准しました。